

第3回野島活性化検討委員会議事録

■開催場所・日時

令和7年10月21日（火） 15時00分から15時50分まで
防府市文化センター（防府市役所 本館8階）

■次第

- 1 開会
- 2 議題
 - （1）事業進捗について
 - （2）野島活性化基本構想の骨子（案）について
 - （3）野島活性化プロジェクトの事業展開について
 - （4）アンケートの結果について
- 3 その他
- 4 閉会

■出席者名簿（敬称略）

所属	役職名	氏名
野島地域自治会連合会	会長	松本 和郎
防府市立野島小・中学校	教諭	林 隆一
一般社団法人防府観光コンベンション協会	専務理事	犬塚 要二
防府市社会福祉協議会	常務理事	熊野 博之
防府市総合政策部	政策推進監	宮本 松典
防府市文化スポーツ観光交流部	部次長代理（観光振興課長）	藤本 奉文
防府市福祉部	部次長	伊藤 忍
防府市産業振興部	部次長	本間 良寛
防府市教育委員会教育部	部次長	松田 伸一

※欠席委員

防府商工会議所 専務理事 松田 和彦
NPO法人防府市市民活動支援センター センター長 京井 和子

（開会）

議題（野島活性化検討委員会設置要綱第5条により委員長が進行）

議題1 事業進捗について

【事務局説明】

資料1をもとに、今後のスケジュールと各事業の進捗状況を説明した。

——質疑・応答——

【A委員】地域おこし協力隊が1名採用されたとのことだが、本土の方に住まわれるのか。

【事務局】そのとおり。

【A委員】将来にずっとなのか。

【事務局】応募の時点では、防府市在住ということだったが、今後、野島に住まわれたいということであれば、支援したいと考える。

【A委員】当面は、野島に通われるのか。

【事務局】そのとおり。

議題2 野島活性化基本構想の骨子（案）について

【事務局説明】

資料2を基に野島活性化基本構想の骨子（案）の概要を説明した。

———質疑・応答———

（質疑なし）

議題3 野島活性化プロジェクトの事業展開について

【事務局説明】

資料1と3を基に野島活性化プロジェクトに係る直近に取り組む事業を中心に説明をした。

———質疑・応答———

【委員長】資料3は事業例でこれまでの意見等も加えて掲載をしているが、骨子（案）の4つの基本理念があって、3つの基本目標のところに具体的な事業として、いくつかを構想の中に盛り込んでいくということよいか。

【事務局】そのとおり。

【委員長】基本構想には、資料3の全部が記載されるわけではなく、5年間での実施は難しくとも目指すべき実現可能なものを載せていくということか。

【事務局】そのとおり。

【B委員】夜間授業は、具体的にどういう形のものなのか。公民館と学校を集約することは非常にいいことだが、公民館の近くに多くの方が住まれている、学校だと距離的に遠くなるがどうか。

【事務局】夜間授業は、野島の強みを生かした授業の実施ということだが、実施されるのが学校の先生ということになるので、負担を掛けないことを考慮しつつ、検討していくが、今の段階で夜間授業について具体的な内容は確定していない。

集約化の件については、地元説明会を実施しつつ、安全面を考慮して建て替えを検討する。学校のエリアが安全な場所で避難所にも指定されている場所でもあるが、建替えや集約化の場所の1つの案として学校を考えている。

また、学校を核とした活性化という観点からも、学校エリアと考えているが、距離的に遠くなることや高齢者が多いので、取り付け道路の勾配などを配慮して整備することも検討する。

議題4 アンケートの結果について

【事務局説明】

資料4をもとにアンケート調査の結果の概要を説明した。

———質疑・応答———

【A委員】アンケートの対象者を学校の関係者、保護者などに限定したのはなぜか。

【事務局】基本構想の大前提として、茜島シーサイドスクールの受入対象の全県化に伴って、野島小・中学校を核とした交流を拡大することで、野島の活性化を図っていくという目的があったため、学校関係者や保護者を対象とした。

【A委員】どのような国の財源を睨んで、事業展開されるのか。

【事務局】財源としては、地方創生の交付金を考えている。公共施設の集約化などで、文科省の交付金など対象になるものがあれば、それらも活用したい。

【B委員】アンケートの中に伝統芸能とあるが、野島には国指定重要無形文化財になっている祭があり、費用面や高齢化により継承が難しいが、いい案がないか。

【事務局】来年度以降、県立大学とも共同研究を実施する予定だが、地域との交流イベントを実施したり、地域にある素材についてデータベース化したりする予定である。大学生が聴取り調査を実施し、地域の意見を拾いたい。

【B委員】地域おこし協力隊の方は、こういったことに関わってもらえないのか。

【事務局】野島の魅力発信とあわせて、地域の方や子どもたちとの交流を通じたイベントの情報発信に加え、伝統芸能といった取組についても、積極的に関わってもらうように考えている。

(閉会)